



地区会ポスター優秀賞受賞！

第47回国臨協関信支部学会茨城地区会ポスター



霞ヶ浦医療センター草薙理事、並びに関係者の皆様方お疲れ様でした。

事務局だより

令和元年度国臨協関信支部

茨城地区会役員

椎名 將昭 水戸医療センター

本年度より事務局長を務めさせていただいております水戸医療センターの椎名です。令和元年6月1日(土)、第39回国臨協関信支部茨城地区会において令和元年度の事業方針、役員が承認され、役員一同会務を遂行させていただきます。

先の第47回関信支部学会地区会コーナーのポスターにおいて優秀賞を受賞いたしました！これは、会員の皆様の団結力の賜物だと思っております。QRコードの提案をいただきました霞ヶ浦の若林副技師長、ポスターの編集をしていただいた霞ヶ浦の草薙さんに感謝いたします。

本年度のレクリエーションも来年に行う予定です。何かやりたいこと、行きたいところなどございましたらご連絡ください。皆様のご意見お待ちしております。

茨城地区会は、非常に結束力の強い地区会だと自負しております。会員一人ひとりの意見に耳を傾けながら、知識・技術の継承並び進化を目指し、会員相互の親睦を図って活動して参ります。

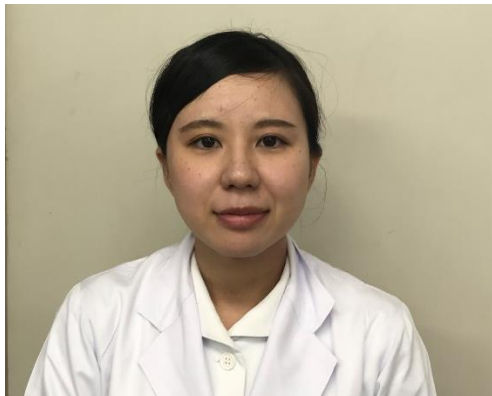
今後とも、茨城地区会を宜しく願いいたします。

会 長	国仲 伸男	(霞ヶ浦)
副会長	吉川 英一	(水 戸)
副会長	後藤 信之	(茨城東)
事務局長	椎名 將昭	(水 戸)
理 事	小林 昌弘	(茨城東)
理 事	草薙 真理	(霞ヶ浦)
理 事	岡村 和弥	(水 戸)
精度管理委員	松永 耕治	(茨城東)
精度管理委員	大塚 美咲	(霞ヶ浦)
精度管理委員	根岸 史知	(水 戸)
会計監査	若林 弘	(霞ヶ浦)
会計監査	後藤 智彦	(茨城東)
役員推薦委員	若林 弘	(霞ヶ浦)



新入会員紹介

霞ヶ浦医療センター 篠田菜月



4月1日付けで霞ヶ浦医療センターに配属となりました、篠田菜月(しのだなつき)と申します。

帝京大学の臨床検査学科を卒業し去年までは、国立病院機構本部の総合研究センターで、臨床研究のデータマネージャーとして2年間、事務職をしていました。

現在は検体検査(血液・生化学・一般)と採血を担当しております。検査技師として仕事を始めて半年が経ち、ようやく業務にも慣れてきて、ルーチン業務はなんとかひとりで回せるようになりましたが、自分の勉強不足を痛感しています。早く先輩方のように働けるよう努力していきたいと思えます。

出身は千葉県の船橋市で、これまでは実家暮らしでしたが、今は近くにアパートを借りて初めての一人暮らしをしています。茨城県はお隣の県ではあるのですが、これまで来たことがほとんどありませんでした。これから時間をかけていろいろな所に行ってみたいと考えています。ただ運転免許を

持っていないので、来年度には業務と両立して教習所に通えるように頑張りたいです。

休日は基本的にインドア派なので、漫画を読んでいたりと、手芸とかして過ごしています。

あとは小学生から高校生まで吹奏楽部で金管楽器をやっていて、最近また個人でホルンを習えればいいなと思っています。

最後になりましたが、国仲技師長はじめ、検査科の先輩方の温かい支えのもと、恵まれた環境の中で業務に取り組めること心から感謝しております。

まだ未熟で、茨城地区会の皆様にはご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

水戸医療センター 椎名将昭



4月1日付けで栃木医療センターより赴任してまいりました椎名 将昭(しいなまさあき)です。はじめまして方もいらっしゃると思いますが、ご無沙汰してますの方も多くいらっしゃるかと思います。出身は、東京都江戸川区ですが、もうかれこれ北関東に住んでいる期間のほうが長くなってし

まいりました。嫁の影響なのか、すっかり茨城に染まってしまい、イントネーションもおかしくなっております。

私の検査技師の原点は水戸医療センター(旧 国立水戸病院)にあります。まだ新人で初々しさの残る時代を過ごさせていただきました。その頃に比べ、場所はのどかになってしまいましたが、建物も近代的になりドクターヘリが行きかう病院になって驚くことばかりです。赴任して半年以上経ちますが、いまだに院内で迷うこともあります。そんな中でも以前から勤めていらっしゃる先生や看護師さんから声をかけられると懐かしさを感じることもあります。つたない副技師長で多大なご迷惑をおかけしておりますが、暖かいスタッフのおかげで、何とか業務を行っております。

最近の私の楽しみは、ダムを巡ることです。誰にも共感を得られず、家族からも“え〜”と言われるので、ほぼ“おひとりさま”で巡っております。山の中にあの無機質なコンクリートの巨大な壁って魅力的じゃないですか？実は水戸市にも楮川(こうぞがわ)ダムって立派なダムがあるんですよ！笠間市や城里町にもダムがありますので、興味のある方は、ぜひ行ってみてください。きっと魅力にとりつかれますよ〜(笑)

こんな私ですが、微力ながらも茨城地区会のお役に立てればと思っております。地区会などでお会いしたときは気軽に声をかけてください。今後とも宜しくお願いいたします。

水戸医療センター 倉持善伸



4月1日付で西埼玉中央病院より水戸医療センターに赴任しました倉持善伸(くらもちよしのぶ)と申します。5年前までは水戸医療センターで技師として勤務しており、5年間茨城県内の施設への異動を希望し、念願かなってまた茨城県に戻ることができました。西埼玉中央病院勤務中は茨城の食材が恋しくなり、友人とともによく土浦市(レンコン)・水戸市(とろびせん、そば)・東海村(ほしいも)、ひたちなか市(生かき・おさかな市場)・石岡市(梨、葡萄、栗)・鉾田市(メロン・さつま芋)など…その時期に旬の食材を探して徘徊していました。

生まれは茨城県坂東市(旧猿島町)猿島のお茶が有名で、私の家でも以前お茶の栽培をおこなっていました。現在はお茶農家も減少し、一部の地域の栽培となってしまい残念な限りです。坂東市は茨城県西部、利根川と鬼怒川に囲まれた地域にあり、自然豊かな土地で、野菜と米の生産が盛んな所です。

さて、水戸医療センターに赴任して最初に衝撃を受けたことは、担当範囲が検体系及び採血室とのことでありました。さすがに検体系を一人では対応しきれない部分もあると考えていましたが、前主任の方々の指

導のおかげで優秀な技師が育っており、安心して業務を任せることができています。上司にも恵まれ、技師時代に指導をしていた吉川技師長、以前茨城地区会で知り合った椎名副技師長の下、主任としての質を上げるべく日々精進していきたいと考えております。

茨城地区会の方々にも以前から知っている方がいると思いますが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

水戸医療センター 加藤 稔



平成 31 年 4 月 1 日付で、15 年間勤務していた茨城東病院より水戸医療センターへ着任致しました加藤 稔です。着任と言うよりは帰任が当てはまるかも知れませんが…遡ること 15 年前、現水戸医療センターの設計が始まる寸前の旧国立水戸病院に勤務しており、当時の病院・検査室の配置、検査項目の内容、検査科職員の光景が今でも思い浮かびます。しかし、現状は迷路のような病院内、幅広く種類豊富な検査項目に悪戦苦闘している日々を過ごしております。ただ、椎名副技師長、倉部主任、倉持主任と当時仕事(遊び)を共にした心強い方々と親しみやすい検査科職員・明るく楽しい検査科であることに安堵しております。

自己紹介と趣味が執筆内容となっておりますので、ここでプロフィール・趣味を紹介

致します。年齢：41 歳、家族構成：妻と子供 2 人(長男=13 歳、長女=10 歳) 住まい：笠間市(出身は山形県)、趣味：長男が所属している野球への帯同。

なんとなくゆる〜い感じで小学 3 年生から始めさせた野球への帯同が今では趣味になっています。みなさんは少年野球について、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

○悪いイメージ:お金がかかる、休みがなくなる、親の負担が多い、父母会との関りがめんどくさい、ケガをする、監督・コーチが怖い(暴力や暴言)

○良いイメージ:礼儀や挨拶ができるようになる、友達(仲間)が増える、体力や運動神経が向上する、家族の会話が増える(ただし、夫婦喧嘩も増える)

実際に上記の様な印象です。何より息子が試合に出る喜び・勝つから楽しいに尽きます。(ちょっと自慢します:金メダル 8 個、銀メダル 6 個、銅メダル 7 個、最優秀選手の盾 1 個を獲得)

兎にも角にも、水戸医療センターの検査科の皆様・茨城地区会の皆様、今後とも引き続きご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



水戸医療センター 原 正敏



平成 31 年 4 月 1 日付で霞ヶ浦医療センターより参りました原正敏です。平成 24 年 4 月から 7 年間霞ヶ浦医療センターに勤務していたので 2 度目の茨城県となります。

趣味は旅行と食べ歩き等です。友人たちと全国、海外へ出掛け、美味しいものを飲んだり食べたりして休日を過ごしています。また、観光スポットを巡ったりもしています。何と言っても好きなのは”お酒” 特にワインが大好きで、都内や海外まで足を運んでいます。またビールだと旅行先の地ビールをよく飲みます。食べ歩きやはしご酒は最高の至福時間です。

霞ヶ浦医療センターでは検体検査全般を担当していましたが、現在は外来採血業務と血液検査を主に担当しています。経験の乏しい分野（骨髄検査）で不安だけですが、血液検査経験者の方々に教えていただき 7 ヶ月で多くの事を学ぶことができました。骨髄検査に携わったことで技師としての幅が広がり、検体検査を行う上でも視野が広がりました。水戸医療センターは茨城県のドクターヘリ基地病院であり、県内外から救急患者が頻繁に搬送されてきます。夜勤帯や休日の日勤帯の当番時は、少し心細いですが検査業務をこなし、毎日を送っ

ています。あっという間に 7 ヶ月が過ぎましたが、検査科皆様の支えのもと仕事ができる恵まれた環境に感謝しながら、毎日の仕事を丁寧に迅速に行い、患者・医師から喜ばれる検査室にしていきたいと思います。そして茨城地区会の会員として、行事への参加、協力をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

水戸医療センター 本橋和樹



この度、自己紹介の機会を頂きありがとうございます。2019 年 1 月 1 日付けで水戸医療センターに常勤職員として配属となりました本橋和樹と申します。以前は千葉県にある国立がん研究センター東病院で 3 年半、非常勤職員として治験の検体処理や管理・発送、治験心電図などを行う臨床研究検査室、その後 治験心電図の業務移行と共に生理機能検査室へ異動となり心電図・呼吸機能検査を担当していました。

現在、当施設では週 2 日を臨床検査部で血液検査と細菌検査、週 3 日を臨床研究部の治験管理室で臨床研究コーディネーターとして治験業務を上司・先輩方に指導頂きながら行っております。今後、実務経験を積んで知識・技術を磨き認定試験を目標に業務に取り組んでいきたいと考えております。私生活では最近 趣味でダーツを始めました。ダーツは投げる時の腕の振り、ダーツの

持ち方や道具についてもフライト（羽）・バレル（金属製の持つところ）の形やシャフト（フライトとバレルをつなぐ部分）の長さで飛び方も変化するので、試行錯誤しながら狙った場所にダーツが刺さった時がとても気持ちが良いです。今はまだ下手ですがもう少し上達したら大会などに出てみたいです。

最初は水戸での一人暮らしも不安がありましたが先輩方に食事や水戸ホーリーホックのサッカー観戦等に連れて行って頂いたりして水戸での生活も楽しく過ごす事ができ感謝しております。

当施設の方々だけに限らず、茨城地区会の勉強会・懇親会へ積極的に参加して交流していきたいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。

水戸医療センター 新井 杏奈



4月1日付けで水戸医療センターに採用となりました新井杏奈です。出身は茨城県守谷市で、東京の大学を卒業後就職したのち、臨床検査技師を目指して3月に専門学校を卒業いたしました。同じ県内ではありますが、実はこれまで水戸に来たことはほとんどなく、失礼ながら最初はもっと田舎なのかなと想像していました。しかし実際住んでみるととても住み心地が良く、水戸にきてよかったなと今では思っています。4

月から初めての1人暮らしだったため仕事に私生活にと慣れないことばかりの毎日でしたが、優しい先輩方に恵まれ色々教えて頂いたおかげで段々と慣れていくことができました。

現在は主に生理検査部門を担当しています。もともと生理検査に興味があったためとても嬉しかったです。日々いろいろな患者さんと接するため大変なこともあります。その分学ぶことも多く楽しく仕事をしています。

普段の休みの日は料理やお菓子作り、レジンアクセサリー作りなどを行っています。食えることが好きなので自分の食べたいものを食べただけ作れるのは1人暮らしの醍醐味だなと実感しています。また漫画が好きでよく読むので、皆さんのお勧めがあったらぜひ教えて下さい。今までは移動に自転車を使っていたため雨の日はほとんど出かけられなかったのですが、最近車の運転を始めたので行動範囲を広げてもっと水戸の良いところを知れたらと思っています。

まだまだ至らないところも多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、今後とも精進して参りますので皆さまご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

茨城東病院

後藤 信之



4月1日付けで国立精神・神経医療研究センター病院より赴任しました後藤信之と申します。東京地区、神奈川地区を経験し茨城地区は初めてとなります。また、今回の異動で初めての単身赴任(54歳になりますが恥ずかしながら一人暮らしも初心者です)となり生活環境が一変しました。家に帰っても部屋は真っ暗で迎えてくれる人は誰もいない。車を使用して遠くのスーパーで買ってきた半額のお弁当やお惣菜をレンジで温め、「チン」と鳴る音がやたら広い部屋に響き渡り、虚しさを感じる毎日です。改めて家族のありがたみを実感しました。当院は近隣に食堂がないので食事をするのに困まり、ここは気持ちを入れ替えて自炊することにしました。炊飯器は1.5合までしか炊けないので、半分は夕飯にあとの半分は節約も兼ねて翌日のお弁当を作って持っていくことにしました。食事に関してはなんとか乗り越えられたと思います。

私は体を動かすことが好きで茨城県といえば、以前にかすみがうらマラソンに出場した経験があります。フルマラソンでしたが大学生が多くスタートと同時に猛ダッシュで走り、大学生についていけなかったことを思い出します。また走りたいと思いますが当時より15キロも太ってしまいもう無理かも……なのでスポーツジム

に通います。

私が住んでいる茨城東病院の宿舎は東海村原子力発電所が近隣にあるので「原子力立地給付金」という制度があります。原子力発電所の関連施設にある自治体やその周辺自治体の住民や企業に対し、原子力発電への理解と協力を求めるために支給される交付金です。使用した電気代が還元されるのにも大変驚きました。

茨城東病院に赴任して9ヶ月になりますが病院スタッフの方たちにも温かく迎えてくれて大変助かっており、一人暮らしにもようやく慣れてきたところです。これからは、茨城県地区会員の皆様と一緒に地区会を盛り上げていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

茨城東病院

田中 亜由美



4月より埼玉病院から茨城東病院に異動となりました田中亜由美(たなかあゆみ)と申します。出身は埼玉県越谷市です。埼玉病院で採用され7年間お世話なり、今回初めての異動です。また、地元から離れ初めての一人暮らしです。最初は不安ばかりでしたが、だんだん茨城の生活にも慣れてきました。

趣味はよさこいとマラソンです。よさこいは社会人になってから始め、夏には東京

都内のお祭りや本場高知のよさこい祭りに参加し踊っています。冬になるとマラソンモードに切り替え、各地の大会に参加しています。今年は水戸黄門漫遊マラソンに参加してきました。地元の方の温かい声援で完走することができ、念願の印籠の形の完走メダルをもらうことができました。茨城東病院はマラソンを趣味とする職員が多く、リレーマラソンに誘っていただき親睦を深めることが出来ました。

埼玉病院では生理検査を担当させていただいておりました。超音波検査は心臓・血管をメインに行っておりました。茨城東病院でも生理検査を担当させていただいております。7年間生理検査を行っていましたが、依頼した先生が必要とする結果を考えると、まだまだ自分の知識不足を痛感し勉強の毎日です。検体検査はオンコールのみですが初めて経験で失敗も多く悪戦苦闘していますが、スタッフの温かい指導によりようやく慣れてきました。

最後になりましたが、後藤技師長をはじめ検査科の皆様の温かい支えのおかげで検査業務に携えることに感謝しております。少しでも多くの仕事ができるよう頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

茨城東病院

橋本 花保



平成 31 年 4 月 1 日付けで茨城東病院に非常勤職員として新規採用となりました橋本花保(はしもとかほ)と申します。どうぞよろしくお願い致します。

出身は茨城県ひたちなか市で、小学校・中学校・高校・大学全てが茨城県内のため根っからの茨城っ子です。

しかしながら、ネモフィラも見たこともなければ ROCK IN JAPAN FES にも行ったことはありません。そのため、上手く茨城の良さを伝えることもできないかもしれませんが、食べることは大好きです。特にひたちなか市の干し芋はどこにも負けず、最高だと思います。おいしい干し芋が食べたいときは、どうぞ遠慮なく声をかけてください。

そんな私は、旅行は大好きでパワースポットに出かけてみたり、海外旅行に行ったりしています。これからも時間を作りいろいろな国に出かけ、その国の文化に触れてみたいと思っています。

最後に少し仕事について触れさせていただきます。現在、私は検体検査業務を行なっています。検査技師 1 年目のため、今まで経験したことがないことも多く、特に機械

の精度管理やメンテナンスなど日々機械と向き合い努力を積み重ねています。大変なことも多いですが、職場の環境に恵まれ、先輩方にはいろいろな面で気にかけて頂き、優しく接してくれるため、とても心強く仕事をする事ができています。まだまだ未熟で皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯努力し多くを学びたいと思いますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

会員の声（趣味編）

茨城東病院

中村 晃太

私は今年の1月ごろからエレキギターを始めました。始めたきっかけは妻に『弾いてみる？』と勧められたことがきっかけでした。ギターのことなど右も左も分からない状態で妻が差し出してきたものは、山下達郎のラストクリスマスでした。最初はコードが覚えられなかったり、押さえる弦が異なっていたり、コードは覚えられても弦を押さえる指が届かなかったり、押さえられたと思ったら他の弦を押さえてしまったり、うまく音が出ないこともありましたが、徐々に曲の一部が弾けるようになってくると楽しく感じられるようになりました。今年は細胞検査士の試験もあったため、半年くらいギターに触れていませんでしたが、触れていない間にギター以外にベースやドラムなどにも興味を持ち始め、今では家にギター、ベース、ミニドラムが一部屋を占領する形になってしまいました。ドラムに関しては家では叩けないので、飾りと化しています。苦笑。先日、試験が終わったので、

ギターの練習を再開し、まずは一曲通して弾けるようになることを目標に頑張りたいと思います。ゆくゆくは妻と一つの曲を二人で弾けたらいいなと思っています。



編集後記

今号は10名の会員紹介と1名の会員の声、地区会ポスターを掲載させていただきました。いばコミの作成にあたってご協力して下さった皆様、誠にありがとうございました。また例年12月発行のところ、今号は1月発行となってしまう、いばコミを楽しみにしていた会員の皆様をお待たせしてしまったことを、大変申し訳なく感じています…。申し訳ありませんでした。今号を会員皆様のコミュニケーションツールの一つとして活用していただければ、大変嬉しく思います。

オリンピックイヤーとなる本年が皆様にとって幸多き一年であることを心からお祈り申し上げます（2020 っていう響きですね）。
(記：小林)